

運用事例 不審人物

安全なホスピタリティ



運用例



検知

不審人物の報告

スタッフが不審人物に気付き、身体装着型カメラ (BWC) を起動して録画を開始します。警報は自動的に直接担当者のデバイスとコントロールセンターに送信されます。



分析

状況の把握

コントロールセンターにいる警備班は、身体装着型カメラ (BWC) を含む周辺のカメラの情報を読み込み、状況を判断し、適切な対応を決定します。



通信

警備員の配置

警備班が出動し、現場に到着する前に、不審人物の画像などの情報を共有。



対応

事態の収束と改善

警備員が不審人物と対峙し、敷地外へと誘導します。事案の報告は、関連するすべての情報を安全に記録し、周辺の他の施設と円滑に共有します。

テクノロジー



検知

- 身体装着型カメラ (BWC)
- コントロールルーム＆ワークフロー管理ソフト



分析

- 固定式ビデオセキュリティ
- コントロールルームソフトウェア
- 身体装着型カメラ (BWC)



通信

- MOTOTRBO ION/ 双方向無線通信
- WAVE PTX: マルチメディア共有＆ブロードバンド・プッシュ・トゥ・トゥ (PTT)
- ディスパッチコンソール



対応

- 身体装着型カメラ (BWC)
- 事案管理

 **MOTOROLA SOLUTIONS**

モトローラ・ソリューションズ motorolasolutions.com/ja_jp

モトローラ、MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONSおよびモトローラのロゴマークはMotorola Trademark Holdings, LLCの登録商標であり、そのライセンスに基づき使用しています。文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。© Motorola Solutions, Inc. 2022. All rights reserved.

*カメラ映像はイメージです。